

平成28年度 学校評価報告書

学校名 杜陵高校本校通信制
校長名 佐々木 和哉

分野	重点目標	自己評価			学校関係者評価	今後の改善方策
		具体的な取組	評価指標	達成		
魅力ある学校づくり	カリキュラムマネジメントを重視した効果的な学校経営を推進し、地域から信頼される学校づくりを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域との連携を密にし、信頼関係を醸成する。 学校関係者とのより深い信頼関係を構築し、教育環境の整備に努める。 学校評価を実施し、学校運営を検証するとともに、それを地域に発信する。 コンプライアンスの徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPの毎月更新: ●(結果)達成 杜陵通信4回発行: ●達成 各行事へのFTA会員の積極参加: ●積極的とまでは言い難い コンプライアンス研修と毎月のスピーチ: ●実施 学校評価のHP公表: ●公表予定 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒への丁寧な対応が周知され学校説明会参加者が増加したと考える。 保護者アンケートの回収率が格段にアップした。このような工夫を様々な場面で展開してほしい。 FTA会員の積極的参加は向上が見られたが、さらなる努力をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> HPや杜陵通信等を利用して、外部への魅力発信を継続する。 今後とも生徒個々に寄り添った指導を継続する。 各種行事へのFTA会員の参加率向上のため、周知方法を工夫するとともに、宮古分室や奥州校とも連携する。
学習指導	授業の充実と学力向上、及び単位修得率のさらなる向上をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> RS調査を的確に実施し、単位修得率の向上に取り組む。 授業力向上に努め、わかりやすい授業の実践に取り組む。 生徒個々の学習状況や困り感の把握に努める。 校外の研修会等へ積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位修得率85%: ●前期83後期77 教科の学習が大事と回答 国95 数87 英85: ●国95 数86 英80 授業が役立つ 国95 数77 英85: ●国91 数75 英79 授業がわかる 国80 数55 英50: ●国86 数57 英64 	B	<ul style="list-style-type: none"> レポート作成タイムの継続などを通じて、単位修得率の向上に努めてほしい。 レポート添削のコメントを楽しみにしている生徒が多いので、丁寧に行ってほしい。 人に認められることで人間は成長する。いいところを見つけて褒めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 後期の単位修得率向上のため、より生徒に寄り添った指導を展開する。 学習に関するアンケートを継続実施し、生徒の状況把握に努め、課題改善に取り組む。 観点別評価がより実効性あるものとなるための研修を実施する。
生徒指導	明朗な学校生活と生活指導による人間形成の充実をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を的確に把握し、問題行動防止のための事前指導を徹底。 生徒会役員の指導とリーダーの養成をはかるとともに、行事や部活動をおとした自己実現の援助を行う。 積極的な図書館利用の指導と、図書資料の整理・購入・活用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活の満足度割合80%: ●84 自己肯定感割合60: ●65 全国大会入賞: ●卓球個人32強 学校評価アンケートのAB評価80%: ●学校行事の満足度25% 各種行事の参加率向上: ●遠足27% 生徒総会22 生活体験40 	B	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活満足度・自己肯定感ともに高い。丁寧な指導の成果と考える。 生徒の年齢層に合った行事を企画し、活気あるものにしてほしい。 高校生活の目標を与え、退学者を減らす工夫をしてもらいたい。 上田夏祭り等地域行事への協力を。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談やアンケートを利用した生徒の実態把握に努め、問題行動を未然防止する。 行事や部活動をとおり、それぞれの個性を伸ばし、自己実現の援助に取り組む。 地域行事への参加に向け、連携を強化する。 希望図書の精選を目指す。
進路指導	特別活動・LHR・総学等を私用し、進路意識醸成に努め、希望達成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査に基づき、生徒の実態把握を行い、進路達成に向け、指導の充実を図る。 諸機関と連携を図り、ボランティアやアルバイト・体験就労を奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望達成率80%: ●現職継続を含め84% 保護者の肯定的評価80%: ●79 職員の肯定的評価80%: ●67 進路指導計画の作成: ●作成 進路希望の的確把握: ●達成 	A	<ul style="list-style-type: none"> アルバイトに関する調査でブラックバイトが明らかになった。取組を評価したい。 前記をはじめ様々な取組で「学校は自分達を守ってくれる」という意識を持ったはず。 メンタルを大事にするとともに、生徒の進路を担保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> アルバイト調査は、実施して終了ではなく、様々な場面で今後も活用する。 引き続き生徒の勤務状況・アルバイト状況の把握に努める。 転編入生の進路決定状況が今ひとつ。前籍校とも協力し改善を図る。
特別支援教育	生徒個々の課題に対応した教育の実践と、教育相談の充実。	<ul style="list-style-type: none"> SCやSSWとの情報交換を開催し、問題を共有し、支援の方向性を確認。 生徒の実態に即した支援を行うため、諸機関・前籍校との信頼関係を構築し、連携を深める。 学習会を計画的に開催し、その専門性の向上をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特支校内委員会7回: ●実施予定 特支学習会3回: ●実施 生徒情報交換会5回: ●実施予定 地域連携NW会議2回: ●実施 保健だより10回: ●発行予定 健診受診率向上: ●100%(27年度)→100、在85→84 	A	<ul style="list-style-type: none"> 左記の会議等は準備も含め大変な労力を要するもの。感謝したい。 不登校に陥る生徒はまじめに考え過ぎるきらいがあるので、優しく対応してほしい。 NW会議実施により、杜陵高校を介した諸連携が機能していることを評価したい。 保健だよりは心遣いが感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> より一層外部機関と連携を図り、生徒の社会自立に向け支援を行っていく。 SSWには環境に注意を払いながら支援いただいているので、今後も活用したい。 健診により、虐待が判明する場合もあるので、受診率を高める努力をする。